

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 奈良教育大学附属小学校  
 種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 所在地 〒630-8301 奈良県奈良市高畑町  
 E-mail : fusho@nara-edu.ac.jp  
 Website : <http://www.nara-edu.ac.jp/ES/index.htm>  
 児童生徒数：男子 285 名 女子 277 名 合計 562 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

6年生がヒロシマ修学旅行（2015年5月28日～29日）で学んだことを中心に、平和について全校みんなで考え合う取り組み。

#### 1. 学習のめあて

- 世界で初めて核兵器の被害を受けた広島で、原爆で受けたきずあとを子どもたちが自分の目で確かめ、被爆された方の話を自分の耳で聞き、原爆のおそろしさを学ぶ。
- 広島で学んだ事実を自分の言葉で仲間に伝える。

#### 2. テーマ

- 「全校に伝えよう 原爆のこわさ 広げよう 平和を望む思い」  
(平和学習委員を中心に6年生全員で決めたもの)

#### 3. 事前学習の教材など

- 3つの“ひろしま”－「広島」－軍都  
「ヒロシマ」－人類史上初の核兵器の被害を受けた都市。平和学習の原点  
「広島」－西日本有数の工業・商業都市
- 原子爆弾のしくみと3つの被害の概要（爆風・熱線・放射線）
- 国語科／『平和のとりでを築く』（作・大牟田稔）
- 音楽科／『白い鳩』

#### 4. 広島での学び（児童99人・教員8人）

- 元陸軍被服支廠とここで被爆された中西巖さんの話、爆風で曲がった鉄窓のスケッチ
- 広島平和記念資料館
- 西光寺の被爆墓誌
- 爆心地
- 平和公園－原爆ドーム、レストハウス（校長から保存運動についての話）、各碑めぐり
- 空鞆神社（熱線を受けて表面がくずれた狛犬）
- 「せこへい」像（世界のこどもの平和像）
- 元中国軍管区司令部地下通信室（広島城内）
- 平和集会（原爆ドーム前） など

#### 5. 事後学習の教材など

- 国語科／峠三吉『倉庫の記録』（詩）
- 記録映像（DVD）『平和公園に眠る故郷－CGでよみがえる記憶の町』（NHKドキュメント2010）
- 社会見学（12.8）／立命館大学国際平和ミュージアム・世界の子どもの平和像「せこへい」（京都）見学と「せこへい」像立案者/秋山氏の話。
- 『世界の人びとに聞いた100通りの平和』（かもがわ出版）の学習と、執筆者の一人であるエファ・パトリック氏（東京都在住のガーナ人）を学校に招いて6年生全員との対話。

○音楽科／『ぼくらの平和』〔作詞・作曲：今正秀（本校校長）〕

## 6. 全校に広める児童会活動

### ①6月16日（火）／たてわりグループのつどい

6年生一人ひとりが、自分の目と耳で確かめたヒロシマの事実をグループのなかま（1～5年生）に伝え、グループの全員から平和メッセージを集める。

### ②6月23日（火）／全校集会

○平和学習委員を中心に、絵本や映像を用いて、ヒロシマで学んだことを全校に発表。

○たてわりグループのつどいで集まった平和メッセージの発表。

○『白い鳩』の合唱

### ③児童会の自然環境生産部による被爆アオギリ2世の植樹

○平和祈念資料館でもらった「被爆アオギリ2世」の苗のことを全校に紹介し、植樹。

### ④「平和への思い」制作

たてわりグループのつどいで集まった平和メッセージ（全校児童分）を3分冊に製本。図書室に置き閲覧。

### ⑤2016年1月19日（火）／たてわりグループのつどいⅡ

6年生一人ひとりが、たてわりグループのなかまに、立命館大学国際平和ミュージアム見学で学んだことと、「せこへい」像&立案者/秋山氏の話伝える。

### ⑥2月23日（火）／全校集会

○『世界の人びとに聞いた 100通りの平和』（かもがわ出版）の執筆者の一人であるエファ・パトリック氏から学んだことを全校に発表。

○『ぼくらの平和』〔作詞・作曲：今正秀（本校校長）〕の合唱

## 7. 取り組みの意義

広島修学旅行では、被爆者・中西巖さんから体験談を聞いた。被爆された場所で、「そのとき・・・」「ここで・・・」「そこに・・・」と話される。70年前ということをお忘れさせる内容である。

話の最後、二度とこうしたことを繰り返してはいけないことを少しでも多くの人に話してほしい、と言われる。このことが、6年生が平和について全校みんなを考えようとする出発点になり、また大きな力になっている。

6年生のこうした学びや願いをもとに全校集会やたてわりグループの集いをもつことによって、全校みんなが平和や命を守ることにについて考える機会を得ている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）